

【目次】

■栗源地区の概要	
1 地区概観	2
2 歴史概観	2
3 地区の特性	4
■地区の状況	
1 人口・世帯等	5
2 地区人口の推移	5
3 土地利用の状況	7
■栗源地区地域まちづくり計画の役割	8
1 策定及び見直しの経過	8
2 計画の役割	9
3 計画の推進体制	9
■まちづくりについての住民の声	9
■地区の課題等	12
■分野別の事業推進	13
1 環境・産業	14
2 生活・防災・防犯	16
3 健康・福祉	17
4 教育・文化	18
5 地域コミュニティ	19
— 資料編 —	
● 地域カレンダー	22
● 地域資源の位置図	24
● 地域まちづくり計画策定委員会設置要綱	26
● まちづくり市民アンケートについて	28
● 栗源地区住民自治協議会役員・委員	29
● 平成24年度～26年度までの活動状況	31

■栗源地区の概要

1. 地区概観

栗源地区（旧栗源小学区）は香取市の南西部に位置し、北は旧佐原市、南は多古町、東は高萩地区及び旧山田町、西は沢地区に接しており、海拔は約7メートル（西田部地先の水田）から約42メートル（台地の畑）となっています。面積は、約13.5平方キロメートルです。

地区のやや西寄りを南流する両総用水（栗山川。サケが遡上し、両岸はあじさい遊歩道になっています。）及びこれに浅黄地先で合流する支川栗山川、さらにこの支川に合流する助沢川沿いに100～200メートルほどの幅で水田が広がり、その他はほぼ台地状をなして畑や山林（主に杉）となっています。このため、この境界部分急傾斜地（がけ）となっているところが多く、湧水（浅黄東部のいなっ様の清水、大畑の湧水）もあり、台地の岩部城址から見る田園風景は、地区を代表する景観となっています。

旧栗源町の中心地区であり、栗源支所をはじめ小・中学校などの文教施設、栗源B&G海洋センターなどの体育施設、ふれあいの里公園など、各種公共施設があり、郵便局、金融機関などもあります。

また、地域の中央を東西に県道成田小見川鹿島港線が、南北に県道佐原八日市場線が、北部を東総有料道路が走り、交通の要衝になっていることから、工場、大型店舗、病院も立地しています。

歴史の項で記すとおり、縄文時代からの長い歴史を持つ地区であり、大塚古墳をはじめとする古墳や、岩部城跡などの史跡、安興寺、大乘寺、実相寺、長栄寺、地福寺、祖波鷹神社など寺社が各地区にあり（3ページ：寺社等一覧参照）、おびしゃ（御歩射＝1年の豊凶を占う神事）、お日待ち、光講、身延講、あるいは祖波鷹神社では村祈祷（むらきど）で、喜楽会（浅黄東西部区民）が奉納する神楽など、さまざまな行事が今も行われています。

2. 歴史概観

本地区は、岩部遺跡の発掘調査の結果から縄文時代から平安時代にかけて集落が営まれていたことが確認されています。また、西田部の堤台古墳群や岩部の矢沢古墳群の存在から地域の有力者が墳墓を営んだ地域でもありました。

西田部は大和朝廷の直轄農地であったという説、岩部では奈良時代には正倉院に納められた布を献上したという説もあります。

平安時代末期には、このあたりは千田庄の一部を占めていたとされ、中世（鎌倉、室町時代）には千葉氏の勢力圏にありました。田部の御城（みじょう）（1170年頃）、岩部城（1222年頃）、荒北の砦が築かれて、武家社会が到来すると、江戸幕府誕生までに幾度か争いが起き、領主も平氏から千葉氏、国分氏（天正年間）、鳥居氏（徳川家康関東入国による）というように変わっていきました。

城や砦が築かれるのに伴い、岩部のように付近に集落が発達していきました。以降、豊臣秀吉の太閤検地、徳川家康の慶長検地を経て、近世（江戸時代）に入ると、村高制により村が一つの行政単位となって、苧毛村、（西）田部村、岩部村、荒北村、助沢村（168

0年代に岩部村より独立)ができました。大畑は古くから岩部村の新田として開かれた地で、東野は岩部村の一部が江戸時代初期に農耕地として開拓された地です。また、北部の台地は江戸時代には幕府牧の一つである油田牧の範囲に含まれていました。現在もその野馬土手が部分的に残されています。

明治新政府になり明治22年、5村に高萩村、沢村を加えて栗源村（大正13年から栗源町）が誕生しました。

太平洋戦争下の昭和17年に部落会制度ができて、岩部村は浅黄東部、浅黄西部、西崎、大畑、東野に分かれ、西田部村、苧毛村、助沢村、荒北村は1区1部落となり、9部落ができました。昭和44年には部落から区と改称され、町の組織として位置づけられました。昭和62年に浅間台区が誕生し、現在は10区となっています。

※主な出典は「栗源町史」による。

◇寺社等一覧（出典：栗源町史）（ ）カッコは創建年

地区	神社	寺院	備考
浅黄東部	石橋稻荷神社（？）		
浅黄西部		妙法山大乗寺（1533年）	
西 崎	祖波鷹神社（1000年？）	東光山安興寺（807年）	村祈祷・喜楽会神楽 （祖波鷹神社）
大 畑			
東 野	金刀比羅神社（1930年）		
助 沢	八幡神社（1680年代） 天神宮（？） 妙見神社（？）	妙栄山長栄寺（鎌倉時代以前？）	
西田部	側鷹稻荷合神社（1244年） 古峰神社（？） 天神様（？） 姫宮神社（？） 浅間神社（1265年） 大六天（1699年）	西光山延命院地福寺（1246年）	
苧 毛	三社神社（鎌倉時代？） 稻荷大神（？） 天神宮（1830年代）	仏性山実相寺（1494年） 清光山真如寺（1587年）	
荒 北	日枝大神（1751年） 妙見神社（鎌倉時代） 五霊宮（？）	浄正山長光寺（1574年） 本覚山浄伝寺（1556年）	

3. 地区の特性

栗源地区を特徴づける自然や歴史、文化・慣習などの資源には、さまざまなものがあり、活動にあたってはこれらを有効に活用することが大切です。

主なものを分野別に整理すると次のようになります。

※ 地域まちづくり計画策定委員会ワークショップから（一部修正あり）

自然	歴史	文化・慣習	公共施設等	生活・その他
栗山川（水源）	各地区寺社（別掲）	おびしゃ	栗源市民センター	助け合い
サケの遡上	古墳（大塚古墳ほか）	お日待ち	さつき館（香取市栗源支所）	地域コミュニティ道刈り
あじさい遊歩道	古道（西田部、荒北）	光講	栗源分遣所	川刈り
いなっ様の清水（浅黄東部）		身延講	栗源小学校	宮なぎ（神社の草刈り）
大畑の湧水（清水）		寺年頭等寺行事	栗源中学校	集会場の清掃
栗源保育所から一望できる風景		元日会（助沢村祈祷（4月10日、祖波鷹神社）	栗源保育所	ごみステーションの清掃
田園風景		喜楽会神楽（4月10日、浅黄東西部）	栗源B&G海洋センター	
谷津田		除夜の鐘（大乘寺）	栗源運動広場	
里山		栗源のふるさととも祭り	栗山川ふれあいの里公園	
大杉（安興寺）		栗源の夏祭り	多目的芝生広場	
イチョウ（助沢・長栄寺）			岩部駐在所	
ナギの木（西田部消防庫近く）			J Aかとり栗源支店	
桜			ライスセンター	
杉の木が多い			栗源郵便局	
がけが多い			香取市商工会栗源支所	
川の魚が減少している			各地区青年館、集会所	
			病院（2）	
			歯科（1）	

■地区の状況

1. 人口・世帯等

平成26年4月1日現在

(人)

	男	女	計	世帯数	15歳未満	15~64歳	65歳以上
香取市	40,318	41,329	81,647	30,239	8,579	48,362	24,706
割合(%)					10.50	59.23	30.26

平成26年4月1日現在

(人)

	男	女	計	世帯数	15歳未満	15~64歳	65歳以上
浅黄東部	109	107	216	73	23	130	63
浅黄西部	56	65	121	40	6	64	51
西崎	207	229	436	147	56	261	119
大畑	99	118	217	78	32	115	70
東野	86	82	168	52	24	100	44
助沢	147	159	306	102	29	178	99
西田部	149	139	288	83	36	174	78
浅間台	24	2	26	23	※	※	※
苧毛	85	104	189	60	17	112	60
荒北	161	162	323	97	26	178	119
計	1,123	1,167	2,290	755	249	1,312	703
割合(%)				※参考値	10.87	57.29	30.69

2. 地区人口の推移

各年4月1日現在

(人)

		平成2年	平成22年	平成26年	増減(人)	増減(%)
全 体 人 口	浅黄東部	247	221	216	▲5	▲2.3
	浅黄西部	183	129	121	▲8	▲6.2
	西崎	424	433	436	3	0.7
	大畑	216	209	217	8	3.8
	東野	175	168	168	0	0
	助沢	356	340	306	▲34	10.0
	西田部	320	321	288	▲33	10.3
	浅間台	83	41	26	▲15	▲36.6
	苧毛	229	202	189	▲13	▲6.4
	荒北	393	341	323	▲18	▲5.3
計	2,626	2,405	2,290	▲115	▲4.8	

(地区人口の推移 続き)

(人)

		平成 2 年	平成 22 年	平成 26 年	増減 (人)	増減 (%)
15 歳 未満	浅黄東部	45	29	23	▲6	▲20.7
	浅黄西部	27	12	6	▲6	▲50.0
	西崎	70	65	56	▲9	▲13.8
	大畑	38	30	32	2	6.7
	東野	29	25	24	▲1	▲4.0
	助沢	58	41	29	▲12	▲29.3
	西田部	71	39	36	▲3	▲7.7
	浅間台	18	0	※	※	※
	荻毛	36	16	17	1	6.3
	荒北	59	39	26	▲13	▲33.3
計		451	296	249	▲47	▲15.8
65 歳 以上	浅黄東部	45	65	63	▲2	▲3.0
	浅黄西部	29	39	51	12	30.8
	西崎	74	113	119	6	5.3
	大畑	37	58	70	12	20.7
	東野	33	38	44	6	15.8
	助沢	72	98	99	1	1.0
	西田部	52	79	78	▲1	▲1.3
	浅間台	1	1	※	※	※
	荻毛	49	68	60	▲8	▲11.8
	荒北	66	106	119	13	12.3
計		458	665	703	38	5.7

※ 行政区別世帯数及び男女別、年齢(3区分)別住民基本台帳人口表は、プライバシー保護の観点から、男性または女性が3人以下の町丁は、年齢別人口を公表していません



3. 土地利用の状況（平成 23 年度 計画策定時資料）

単位（面積：千㎡、割合：％）

	香取市		岩部 ・浅黄東部 ・浅黄西部 ・西崎 ・大畑 ・東野 (浅間台)		助沢	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宅地	20,762	7.92	482	8.98	111	4.51
田	82,565	31.48	687	12.79	349	14.19
畑	39,899	15.21	1,622	30.20	765	31.10
山林	49,048	18.70	1,679	31.27	793	32.23
原野	3,115	1.19	98	1.82	52	2.11
池沼	1,561	0.59	1	0.02	0	0.00
牧場	629	0.24	4	0.07	12	0.49
雑種地	13,095	4.99	185	3.45	56	2.28
その他	51,632	19.68	612	11.40	322	13.09
計	262,306	100.00	5,370	100.00	2,460	100.00

単位（面積：千㎡、割合：％）

	西田部 ・西田部 (浅間台)		苅毛		荒北	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宅地	164	7.01	65	5.00	106	5.12
田	361	15.43	251	19.31	407	19.66
畑	381	16.28	228	17.54	602	29.08
山林	627	26.79	209	16.07	475	22.95
原野	121	5.17	4	0.31	34	1.64
池沼	15	0.64	0	0.00	0	0.00
牧場	-	-	-	-	0	0.01
雑種地	309	13.21	312	24.00	39	1.88
その他	362	15.47	231	17.77	407	19.66
計	2,340	100.00	1,300	100.00	2,070	100.00

■栗源地区地域まちづくり計画の役割

栗源地区住民自治協議会では、少子高齢化、人口減少などによるさまざまな地域課題を見据えながら、「いつまでも住み続けたい」とだれもが思えるようなより良い地域づくり、愛着を持てるふるさとづくりを進めるために、「栗山川の源に あふれる活気 輝く笑顔と栗源の絆」を将来像として掲げました。

「栗源地区地域まちづくり計画」は、この将来像の実現に向けて、現状や取り組みの目標、活動事業等を分野別に取りまとめたもので、私たちが活動を実践していくための指針となるものです。

地域の将来像 **栗山川の源に あふれる活気 輝く笑顔と栗源の絆**

1. 策定及び見直しの経過

平成 23 年	10 月	20 日	栗源地区住民自治協議会設立
	11 月	9 日	第 1 回役員会 ・地域まちづくり計画策定委員会設置 ・まちづくり市民アンケートについて協議
	12 月	1 日	・住民・団体アンケート実施（～16 日）
	12 月	6 日	第 1 回計画策定委員会 ・地域の特性、課題の把握（ワークショップ）
平成 24 年	1 月	26 日	第 2 回計画策定委員会 ・アンケート集計結果の報告 ・地域の将来像、事業計画等の検討
	2 月	14 日	第 3 回計画策定委員会 ・地域まちづくり計画素案の取りまとめ
	2 月	8 日	第 2 回役員会 ・地域まちづくり計画（案）、協議、決定
	4 月	19 日	栗源地区住民自治協議会総会 ・ 地域まちづくり計画の決定
平成 26 年	12 月	12 日	平成 26 年度第 2 回役員会 ・地域まちづくり計画の見直しについて検討
平成 27 年	1 月	13 日	四役会議 ・地域まちづくり計画の一部見直しについて検討
	2 月	10 日	四役会議 ・地域まちづくり計画の一部見直し（案）の検討
	2 月	26 日	四役会議 ・地域まちづくり計画の一部見直し（案）の検討
	3 月	6 日	第 3 回役員会 ・地域まちづくり計画の一部見直し（案）の協議

2. 計画の役割

栗源地区地域まちづくり計画は、栗源地区住民自治協議会が一丸となって取り組む目標や活動などを定めたものです。

この計画に基づき、年度ごとに事業計画書を作成し事業を実施します。

なお、地域の状況や地域を取り巻くさまざまな環境、社会情勢の変化に適切に対応するため、必要に応じて見直しの検討を行うこととします。

3. 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、区をはじめ各種団体が、得意とする活動分野ごとに部会を組織したり、実施する事業に応じて実行委員会を設置する等によって、その実効性を高めます。また、実施した事業については、評価、検証を行い、見直し、改善に努めることとします。

※ 地区の主な活動団体及び分野の例（平成 23 年度 アンケートから）

環境・産業	生活・防災・防犯	健康・福祉	教育・文化・交流	地域コミュニティ
自治会（区）、栗源中学校、栗源小学校、栗中 P T A、栗小 P T A				
<ul style="list-style-type: none"> ・あじさい ・あざみ ・青空 ・たつみ ・ボランティアさくら会 ・アサヒ ・竹の子 ・あじさいⅡ ・菊花会 ・栗源さくらの会 ・高齢者クラブ（浅黄東部、浅黄西部、西崎、大畑、助沢、西田部） 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団 1－1部（浅黄） 1－2部（西崎・大畑） 1－3部（西田部） 1－4部（助沢） 1－5部（苧毛） 1－6部（東野） 2－2部（荒北） ・交通安全協会 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員 ・母子福祉協力員 ・高齢者クラブ（浅黄東部、浅黄西部、西崎、大畑、助沢、西田部） ・母子保健推進員 ・ねむの木会 ・愛の晩ごはん ・のぎく会 ・栗源地区社会福祉協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年相談員 ・スポーツ推進委員 ・体育協会 ・ボランティア栗源 ・子ども会（浅黄、西崎、大畑、東野、助沢、西田部、苧毛、荒北） ・栗源さくらの会 ・アサヒ ・栗源地区社会福祉協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア栗源 ・たつみ

■まちづくりについての住民の声（アンケート結果から）

平成 23 年 12 月に、区長をはじめ地区の役員の方々の協力を得て配布・回収したまちづくり市民アンケートは、861 人の方々から回答をいただきました。1 世帯当たり 1.3 人、地区の 3.6% の方々に回答していただいたこととなります。

このアンケートの集計結果から、皆さんが地区や地域活動をどのように考え、感じているのかを見ると、次のようになりました。（数値は小数点以下を四捨五入しています。）

◇8割以上が「地区に愛着ある」

地区の愛着については、「強い愛着を感じる」が 27%、「ある程度愛着を感じる」が 57%で、合わせると 84% になりました。

皆さんの思いを合わせることができれば、大きなまちづくりの力になると考えられます。

◇魅力は「自然が豊か」で「犯罪が少ない」

地区の良いところについては、「自然が豊か」が 66%、「犯罪が少ない」が 37%、「人情がある」が 27% でした。

豊かな自然の中で、人々のつながりがあって心安らかな平穏な暮らしぶりがあることがわかります。

◇住みづらい点は「交通・買い物が不便」

一方で、住みづらいと感じるところは、「交通の便が良くない」が 53%、「買い物に不便である」が 49%、「老後の生活が不安である」が 30%、「魅力ある働く場が少ない」が 22% でした。

公共交通が十分でないこと、商店、特に生鮮食品を扱う商店が少ないことなどが影響しているようです。日々の生活という面では、厳しい状況があることがわかります。

◇6割以上が「地域活動に関心ある」

地域活動に対する関心については、「非常に関心がある」が 5%、「ある程度関心がある」が 59%で、合わせて 64% になりました。

地区の 2/3 の皆さんが、地域活動に関心があることがわかります。

◇活動は「年に1～2回」

地域活動への参加状況については、「年に1～2回」が 28%、「半年に1～2回」が 20%、「2～3ヶ月に1～2回」が 18% でした。

これは、地域活動には関心はあるものの、参加の機会がそれほど多くないことが影響しているものと思われます。（例えば自治会以外に活動の場がなければ、5月のごみゼロ運動と夏の道刈り程度の参加になり、年2回程度の参加になるなど。）

◇活動は主に「自治会」活動に参加

地域活動に参加する場合のグループについては、「自治会」が 44%、以下、「個人」が 17%、「農業関係で」が 13%と続きました。

個人で活動に参加するとした回答が比較的多く、自主的に参加していることが窺えることが特徴になっているようです。

◇「身近な人と一緒」や「自分の都合」でできれば活動に参加する

地域活動に参加する場合の条件としては、「友人や地域の人等、身近な人と一緒に参加で

きる」が54%、「自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる」が49%、以下、「簡単に参加できる」が37%、「趣味や特技を生かせる」が20%と続きました。

あいた時間に簡単に参加できれば、多くの参加が期待できることがわかります。また、自分の趣味や特技を生かせるような活動をつくっていくことも求められていると思われます。

◇「清掃活動」や「美化活動」、「地域ふれあい行事」に参加を希望

参加したい活動の内容については、「道路や公園などの地域の清掃活動」が26%、「まさに緑や花を増やす美化活動」が18%、以下、「地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの地域のふれあい行事」が16%、「お年寄りのお世話や生きがい対策などの地域の福祉活動」が14%と続きました。

美しい環境のもとで、楽しく触れ合いたい、みんなで助け合おうという、皆さんの思いが伝わります。



■地区の課題等

平成 23 年 12 月実施のアンケート調査や地域まちづくり計画策定委員会では、地域の課題や事業提案として、さまざまな意見が出ました。その中で主なものを分野別に整理すると次のようになります。これからのまちづくりにおいては、これらの課題の解決に向けた事業を展開していく必要があります。

分野	主な課題等
環境 ・ 産業	休耕地（田、畑）の管理・活用
	道路、通学路の草刈り、枝払い
	U字溝清掃
	川刈り（栗山川、支川栗山川）
	里山の保全（竹の駆逐）
	ごみの不法投棄
	ごみ回収ルール（分別、日にち、時間が守られない）
	ごみを燃やさない（家庭ごみ、マルチ用ビニール）
	悪臭（ゴミ焼却）
	通学路の安全確保
	水路清掃
	環境美化
	自然保護
	◆住宅の立木（管理）
	◆日陰樹の伐採
	生活 ・ 防災 ・ 防犯
◆企業誘致	
◆賑わい・魅力ある地域づくり	
空き家（地）の管理、活用	
子供の見守り（登下校時など）	
買い物不便	
婚活事業の充実（少子化対策）	
防犯パトロール	
防犯対策	
防災対策	
◆防犯灯の設置	
◆人口減少	
◆少子化	

健康 ・ 福祉	高齢者の移動手段
	高齢者クラブ加入者の減少
	見守りネットワーク（独居老人等）の充実
	高齢者福祉の充実
	◆学童保育の拡充
	◆医療の充実
教育 ・ 文化	青少年育成
	子ども会活動の衰退
	P T A活動（廃品回収）：子供数の減少
	◆子供たちの送迎（通学）
	◆図書館整備
地域 コミュニティ ・ その他	地域のコミュニケーション不足
	地域活動への理解・協力
	地域の情報不足
	慣習・風習
	◆コミュニティ施設の整備
	◆活用されていない施設の有効活用

注) ◆印の課題等は、地域だけでは解決が困難なもの。



■ 分野別の事業推進

課題解決に取り組むため、分野別に、取り組みの目標、現状、展開する活動などを示します。

1 環境・産業



取り組みの目標

豊かな自然を生かした 美しい環境づくり

【現状】

道路の障害樹や野焼きの悪臭、ごみの不法投棄など、日常生活に関する課題が多く寄せられています。

基幹産業である農業も、後継者不足等により農地が荒れ、耕作放棄地が増加しています。また、山林も手入れがされず、美しい自然が失われつつありますが、一方で、美しい景観づくりのためのボランティア活動も活発に行われています。

今後は、ボランティアの高齢化に対応するため新たな人材発掘を進めながら、耕作放棄地の有効利用や障害樹の伐採等による道路空間等の環境整備、野焼きによる悪臭・ごみの不法投棄対策などに取り組むことが求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
栗源桜の名所めぐり	地域内の桜の名所をめぐる住民参加によるウォーキングや花見会等を開催するとともに、さくらの会などの既存のボランティア団体と連携を図りながら、桜の保護のための除草作業などの環境美化活動を展開する。 【ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
ごみゼロ運動	市が 5 月に実施しているごみゼロ運動と別に、地域独自のごみゼロ運動を実施する。また、市や地域独自のごみゼロ運動に併せて、ごみのポイ捨てや不法投棄がされやすい場所の点検、清掃を行うとともに、不法投棄防止対策として看板の設置等を行う。 【区、地域住民 等】	短期 継続 平成 24・25 年度 実施

環境美化活動	<p>ふるさとをきれいにすることによって、住みよいまちづくりと地域の連携、ふれあいを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路沿いの草刈り、障害となる樹木や枝の伐採等 ・花の植栽 ・里山整備 ・耕作放棄地の管理・活用 <p>【区、各種団体、ボランティア団体、地域住民 等】</p>	<p>短期 継続</p> <p>平成 24 年度から 事業継続中</p>
ふれあいの里公園美化活動	<p>地域のシンボルとなっている栗山川ふれあいの里公園の除草等を地域住民に呼びかけながら行い、公共施設を大切に する心と美化意識の醸成を図る。</p> <p>【高齢者クラブ、ボランティア団体、地域住民 等】</p>	<p>短期 継続</p> <p>平成 24 年度から 事業継続中</p>
野焼き防止活動	<p>家庭ごみを含む野焼きによる悪臭対策のため、市と協力してチラシを作成し地域内の各戸へ配付するなど、野焼きによる迷惑防止を図る。</p> <p>【区、地域住民 等】</p>	<p>短期 継続</p>
休耕地活用の検討	<p>荒れた田や畑の休耕地の有効活用について検討する。</p> <p>【農家実行組合、水利組合、ボランティア団体、地域住民等】</p>	<p>中期 継続</p>

※ 短期とは、概ね 3～5 年後を目安に取り組むもの。中期とは、概ね 6～7 年後、長期とは、概ね 8～10 年後程度を目安に取り組むもの。



2 生活・防災・防犯



取り組みの目標

みんなで見守る 安心 安全な地域づくり

【現状】

近所にスーパーがないことや公共交通が不便なため、車がなくては買い物や通勤などの日常生活を送ることができない状況で、高齢者の方も、車の運転ができなくなったときのことを心配しています。

全国的に子供に対する犯罪が多発していることから、保護者は登下校時の子供たちの安全を心配しています。

昨年の平成 23 年 3 月の東日本大震災の経験から、災害時の一人暮らし高齢者や近所同士での安否確認などの防災対策も求められています。

その他、空き家や独身者の結婚問題も課題となっています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
栗源子ども見守りサポート隊	子供たちの登下校時に、地区住民が、それぞれの活動（犬の散歩、庭先の手入れ、農作業など）の中で、無理のない範囲で見守る。 【ボランティア団体、小・中学校、PTA、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
防犯対策	振り込め詐欺などの被害防止のため、警察等に協力をお願いし、講習会等を開催する。 【区、高齢者クラブ、各種団体、地域住民 等】	短期 継続
防犯パトロール	日中の空き巣対策等として、腕章を付け散歩を兼ねてパトロールを行うなど、防犯パトロール活動を行う。 【ボランティア、地区住民 等】	短期 継続
防災対策	災害時の安否確認、避難場所、必要な物資の状況などについて、地域で点検を行うとともに、対応を検討する。 災害時の一人暮らし高齢者等の救助方法等について、地域で話し合い、体制等を整備する。 定期的に防災訓練等を行い、災害に備える。 【区、各種団体、地域住民、消防団 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中

3 健康・福祉

取り組みの目標

声をかけ合い 助け合い 広げよう思いやりの輪

【現状】

旧栗源小学校区の65歳以上の高齢化率は、市の30.26%を上回る30.70%（平成26年4月1日時点）であり、今後もさらに高齢化は進むものと思われます。

近年は一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加していることから、高齢者の安否確認や移動手段の確保、生活援助、生きがい対策などが課題となっています。

その他、共働き世帯の増加から、学童保育の充実が求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
高齢者の安否確認	地域内の家族状況を調査し、日中独居や一人暮らし高齢者の安否確認を行う。また、可能な範囲で、話し相手等の支援を行う。 【民生児童委員、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続
高齢者福祉の充実	高齢者が気軽に自由に集まり、談話や将棋などができる交流の場を設ける。自分では会場まで来られない、体の不自由な高齢者については送迎をする。 また、市の協力により、月に数回、筋力トレーニング教室等を開催する。 【高齢者クラブ、民生児童委員、ボランティア団体、小学校、地域住民 等】	短期 継続 平成24年度から 事業継続中
栗っこ寺子屋活動	放課後、家庭において適当な保護を受けられない児童を自宅に預かってくれるボランティアを募集するなどして、一時預かり活動を行う。 【ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続



4 教育・文化



取り組みの目標

学校と地域が連携し育む 心豊かな子供たち

【現状】

地域では、おびしゃや祖波鷹神社の村祈禱、浅黄の神楽（喜楽会）など、昔からの伝統行事や伝統芸能等が、今日まで大切に継承されてきました。負担感の軽減を図りながら、今後もこの文化を後世に継承していくことが必要です。

市町村合併後、青少年のふれあいの機会が減少していることから、青少年育成の場としての行事やスポーツ大会の開催が求められています。

少子化により、小中学校の児童・生徒数が年々減少していることから、PTA活動や子ども会活動などにも支障がでてきており、地域での支援が課題となっています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
青少年健全育成活動	夏休みなどに小・中学生を対象に宿泊のキャンプ体験などを行い、青少年の健全育成を図る。 【青少年相談員、子ども会、ボランティア団体 等】	短期 継続
児童・生徒の活動支援	児童・生徒数の減少により、青少年の各種活動に支障をきたしていることから、地域で活動を支援する。 【区、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
子供会活動の支援	児童数の減少などにより、子ども会活動が衰退していることから、地域で活動を支援する。 【子ども会、高齢者クラブ、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続
伝統行事継承活動	地域の伝統芸能、伝統行事の保存と継承を目的とし、伝統行事の映像記録化や下座体験教室等を企画する。 【保存会、地域住民 等】	短期 継続

5 地域コミュニティ



取り組みの目標

**交流を深め みんなが住み続けたいと思える
地域づくり**

【現状】

市町村合併後は、地域のふれあいやコミュニケーションが減少し、地域内に住んでいる人の把握ができないことを心配しています。中には、昔が懐かしく、町民体育大会の復活を望む声もあり、栗源の絆を取り戻したいという強い思いがあります。

今後は、これまでの区の活動に加え、住民自治協議会の組織により各種団体等が連携を深め活動することで、地域の交流が深まり、地域コミュニティが充実していくものと期待されます。

また、多くの方が、区を含め地域内の情報提供を求めています。

その他、慣習・風習の簡素化、震災で使用できなくなった公民館の代替え施設の早期整備、栗源支所内などの活用されていない施設の有効活用を求める声などがあります。

※ 平成 26 年 12 月に栗源支所及び栗源公民館の機能を併せ持つ「栗源市民センターさつき館」が竣工

項目名	事業・内容・主体等	時期
地域交流ふれあいスポーツ大会	交流の機会が少なくなっているなか、みんなが参加して楽しめるスポーツ大会を開催し、地域の交流を図る。 【区、地区社協、高齢者クラブ、ボランティア団体 等】	短期 継続
ボランティア活動促進事業	各ボランティアグループの活動内容等をまとめたパンフレットを作成し、各戸へ配布することにより、各ボランティアの紹介と周知を図る。併せて、ボランティア参加者を募集し、ボランティアへの意識を高める。 【ボランティア団体 等】	短期 継続
地域資源マップ・カレンダーの作成	地域の資源と行事内容等がわかるものを作成し、各戸へ配布する。地元においても地域のことがわからない人も多く、新住民も増えていることから周知を図る。 【区、地区社協、ボランティア団体、小・中学校、各種団体 等】	短期 継続
広報お知らせ	活動の周知PRや身近な情報を伝えるため、広報紙やチラシ等により広報を行う。 【区、ボランティア団体、地区住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中

